

職員による自己評価

A 環境面

活動スペースは充分とはいえないが、レイアウトの工夫や整理整頓で最大限確保している。

B 業務改善

日報・個人記録の見直しを行い、適切な記録の保存と業務の効率化を図った

C 児童への支援内容

利用児童の変化に合わせてプログラムの見直しを行い定着させた。

新しい取り組みとして月 1 回リトミックも行った。

D 保護者への説明責任・信頼関係

ホームページの更新と会報誌の発行回数が少なかった

E 非常対応

避難訓練は適切に行い、現実的な災害時の対応をスタッフ全員で考える機会をもった

保護者による評価

A 環境面

- ・スペースは充分でないが、それなりに工夫はされている
- ・バリアフリー化されていないが、安全は確保されている

B 適切な支援の提供

- ・障害のない子どもとの活動機会はない
必要性を感じない
- ・放課後等デイサービス支援計画の作成には満足している

C 保護者への説明等

- ・保護者会は開催されていない
- ・子どもの状況についての保護者との共通理解や意思疎通はなされている

D 非常対応

- ・マニュアルの策定はよくわからない
- ・避難訓練は実施されているかわからない

事業所内での分析

- ・環境面（設備）は充実していないと感じているが、その中で工夫はされていると認識している
- ・地域交流はコロナ禍でゼロになってしまったが、今後状況をみて可能であれば再開していきたい
- ・スペースの狭い中でも工夫して、子ども達が身体を動かして遊ぶ機会を設けている
- ・防災訓練は保護者にアナウンスしていないので特に認知されていない
- ・マニュアル類の整備については新規契約時の説明が不足している

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・モニタリング・面談に基づいた支援計画を保護者に理解してもらえており、満足度も高い
- ・イベントや外出は少ないが、プログラムを工夫し、児童ひとりひとりを手厚くサポートすることができる
- ・会報誌「しもながやだより」で活動内容や活動方針を保護者に理解してもらえる

事業所の改善点

- ・防災訓練や各種マニュアルの整備について周知されていない
- ・地域交流や保護者会を開催していないが、今後必要性を吟味して検討する
- ・職員の充実とスキルアップ

事業所の改善への取り組み

- ・常に整理整頓に尽力し、活動スペースを確保する。また、限られたスペースを活用できるように活動プログラムも工夫する。
- ・会報誌の定期的な発行とホームページ更新を継続する。これにより利用頻度の低い児童や関心の薄い保護者にも取り組みを理解してもらえるよう情報発信する。
- ・状況が落ち着いたら地域交流として老健への活動参加を再開したい。
- ・今年度初めて漢字検定と数学検定のサポートをして良い結果を得たので、今後も他児童に広げて学習支援を充実させたい

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・前年に続きコロナ禍により、子ども達が楽しめるイベントができなかったが、その代わりに新しいプログラムを工夫し定着させることができたのはよかった。
- ・アンケートの「子どもは通所を楽しみにしているか」と「事業所の支援に満足しているか」という項目が高評価であったことが励みとなるので、これを維持できるよう今後も努めたい。